

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和7年5月28日

部局等名	文化スポーツ部	課かい名	文化推進課	推進責任者氏名	菊池 修
------	---------	------	-------	---------	------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象:全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10～11)の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	事務用品の在庫管理を適切に行い、必要最低限の購入に努めるとともに、ごみの分別、リサイクル、リユースを徹底した。
	具体的内容	事務用品は計画的に購入し適切な在庫管理を行う。また、紙ごみの分別を徹底し、リサイクル、リユースを徹底する。	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	離席時にノートパソコンを閉じたり、帰るときにはコンセントを抜くことを徹底した。階段を積極的に利用したりするなどして、各職員がエネルギー使用量の削減を意識して行動した。
	具体的内容	離席時のノートパソコンを閉じる、階段を積極的に利用し、なるべくエレベータを使用しないなど、各職員がエネルギー使用量の削減を意識した行動をする。	
3	取組項目	B. 資源の有効利用	課や担当内でも積極的にLoGoチャットを活用した。紙で印刷する場合は、両面印刷や集約印刷を徹底するとともに、裏紙を利用して印刷して、資源を有効利用した。
	具体的内容	情報や資料等は紙で提供する必要性を精査し、LoGoチャットの活用など紙の出力を減らす。印刷する場合は両面印刷、集約印刷、裏紙の利用を基本とする。	

【対象:グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

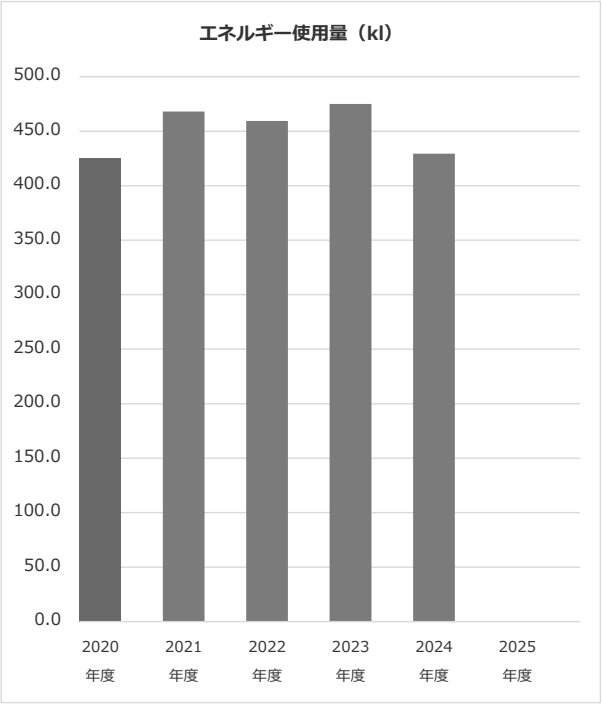
実績	前年度比	-9.6 %	達成状況	■ 達成
達成/未達成の理由	各施設の職員や利用者が省エネの協力依頼に対して、努めたため。			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	16469.0	18140.0	17806.0	18409.0	16638.0	
エネルギー使用量(kl)	424.9	468.0	459.4	475.0	429.3	0.0
対前年度比(%)	—	10.1%	-1.8%	3.4%	-9.6%	-100.0%

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	ゆかりの人物館、開高健記念館、ハマミナマなびプラザ、市民ギャラリー、市民文化会館、美術館、松鶴庵	計画	施設利用者へ空調の設定温度や照明利用等、省エネの協力を依頼する。
		実績	施設利用者へ空調の設定温度や照明利用等、省エネの協力を依頼し、実施した。
2		計画	
		実績	
3		計画	
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2)職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	C-EMSの概要と当年度の「全庁目標」について確認するとともに、課かいにおける取組目標及び具体的な取組を周知した。
法令遵守確認研修	■ 実施	当課が遵守すべき環境法令の内容について確認した。
新任・異動者研修	■ 実施	取組目標設定研修と合わせて実施した。

(3)指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
☐ 関係する指定管理者・委託業者はない ☒ 要望伝達・協力要請が実施されている ☐ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4)公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った ☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和7年5月28日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
エコオフィス行動ルールの取組目標に対しては、概ね達成できた。 設備機器の省エネの取組目標に対しては、各施設の職員が省エネについて、意識して努めた結果である。 日頃から職員一人一人が最も身近な環境問題として、省エネを意識していることが目標達成につながったと考えられる。	施設所管課であるため、各施設の職員へ引き続き周知が必要である。各施設では、利用者の利便性を確保するため、一定のエネルギーの使用が見込まれるが、利用者にも積極的に省エネの呼びかけをし、エネルギー使用量の削減に努める。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和 7年 5月30日

部局等名	文化スポーツ部	課かい名	スポーツ推進課	推進責任者氏名	佐藤 勇
------	---------	------	---------	---------	------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象：全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10～11)の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	事務室内のゴミ箱に、プラごみと燃せるごみを分別できるよう区分けを実施。取り組み自体は今後も継続していく。
	具体的内容	事務用品を計画的な管理と再利用を図る。また、執務室内のごみの分別を徹底するため、ゴミ箱に分別表示を設置する。	
2	取組項目	B. 資源の有効利用	ノートパソコンのふたを閉じ忘れることがしばしば見受けられる。引き続き取り組みを実施する必要がある。
	具体的内容	短時間の離席時はノートパソコンのふたを閉じる。また、長時間使用しない電気機器(パソコン端末、プリンター等)はコンセントから抜く。	
3	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	燃料高騰の理由から、公用車を極力乗らないよう意識した。急発進、急制動することないよう運転の意識づけも周知した
	具体的内容	公用車の急発進、急制動を抑えたエコな運転を心がけてエネルギー使用量の削減を図る。	

【対象：グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

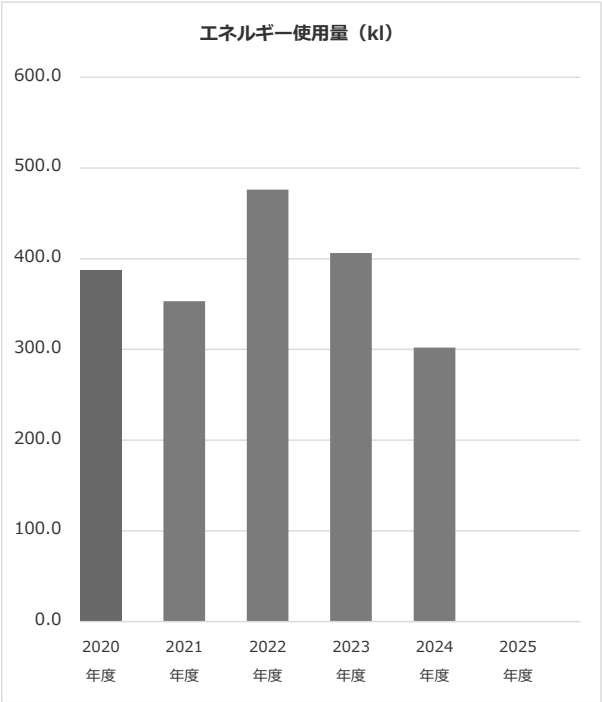
実績	前年度比	-25.6% %	達成状況	■ 達成
達成/未達成の理由	施設全体的に節電やLED改修による電気量削減が図られた。総合体育館が令和5年10月～令和7年1月末まで休館していた影響が大きい。			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	15026.0	13692.0	18459.9	15750.6	11711.0	
エネルギー使用量(kl)	387.7	353.3	476.3	406.4	302.1	0.0
対前年度比(%)	—	-8.9%	34.8%	-14.7%	-25.6%	-100.0%

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	総合体育館	計画	空調フィルターの清掃を4回/年実施する。
		実績	計画のとおり、実行した。
2	茅ヶ崎公園 野球場	計画	空調フィルターの清掃を2回/年実施する。
		実績	計画のとおり、実行した。
3	屋内温水プール	計画	夏季には遮光ネット、冬季には断熱シートを設置し、室温を維持する。
		実績	計画のとおり、実行した。



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2)職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	6月14日に実施（対象者8名中8名参加）。 C-EMSの概要と当年度の「重点確認項目」について確認するとともに、課かいにおける取組目標及び具体的な取組を検討し設定した。
法令遵守確認研修	■ 実施	6月14日に実施（対象者8名中8名参加）。 C-EMSの概要と課かいにおける取組目標及び具体的な取組を周知した。 各施設の指定管理者に対し、対象物の有無、点検の必要性等について再確認した。

(3)指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
☐ 関係する指定管理者・委託業者はない		
☒ 要望伝達・協力要請が実施されている		
☐ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4)公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
☒ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った		
☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和 7年 5月30日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
一部照明のLED改修や節電したことによって、各スポーツ施設で電気使用量の削減が図られ、省エネ効果が出ているように見うけられる。 令和5年度に屋内温水プール～環境事業センター間の高温水配管漏水があったためガス使用量が多かったが、令和6年度はその事象がなかったためガス使用量が少なく終わられた。 令和5年10月から令和7年1月末までの総合体育館休館に伴い、エネルギー使用量が減少しているため実績値は良好だが、空調設備設置後の影響(電気量減、ガス使用量増)が令和7年度実績でわかるため注意が必要である。	各施設での照明をLEDに改修しているため、電気使用量の削減を期待する。 職員一人一人においても日常的にゴミの削減、電気やガソリンの使用量の削減を意識することにより、市全体のエネルギー使用量削減、省エネに貢献するという意識が必要。

C-EMS実施計画書兼ふりかえり表

作成年月日： 令和7年5月27日

部局等名	文化スポーツ部	課かい名	多様性社会推進課	推進責任者氏名	河野 路代
------	---------	------	----------	---------	-------

(1)目標及び進捗状況

全庁目標	エネルギー使用量を対前年度比で1%以上削減
------	-----------------------

【対象:全課かい】

① 全庁目標達成に向けた「エコオフィス行動ルール」(実行計画P10～11)の取組目標

No.	取組目標		実績／今後の課題など
1	重点取組項目	C. 廃棄物の削減	物品等を計画的に購入し、在庫管理した。ファイルや封筒の繰り返し利用(リユース)に努めた。
	具体的内容	物品等は計画的に購入し適切に在庫管理し、ファイルや封筒の繰り返し利用(リユース)に努める。	
2	取組項目	A. エネルギー使用量の削減	課全体の情報共有に努め、計画的に業務を進め、時間外勤務の削減、月1回以上の年次休暇の取得に努めた。
	具体的内容	担当内だけでなく、課全体として情報共有に努め、計画的に業務を進めることで、時間外勤務の削減、月1回以上の年次休暇の取得に努める。	
3	取組項目	B. 資源の有効利用	例年実施している日本語ボランティア養成講座の紙面による参加者アンケートをe-kanagawaを活用し電子化した。また、相談記録のKintoneを活用の継続をはじめ、ペーパーレスの徹底に取り組んだ。
	具体的内容	タブレット端末等を活用したペーパーレス化の更なる徹底に取り組み、廃棄物の削減を図る。	

【対象:グループ2(所管施設のある課かい)】 ※算定範囲は所管施設全て(グループ4(市立小中学校)、グループ5(指定管理施設)を含む)

② 全庁目標達成に向けた設備機器の省エネの取組目標

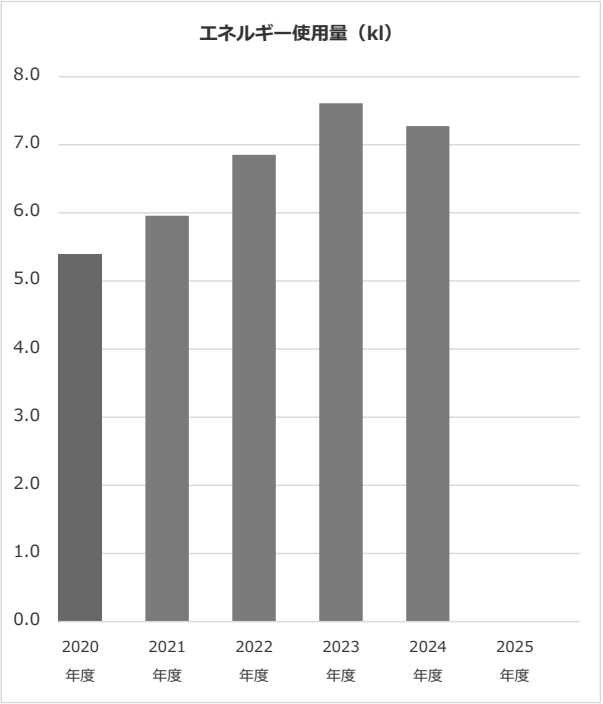
実績	前年度比	-4.4 %	達成状況	■ 達成
達成/未達成の理由	空調機の設定温度の上限と下限に制限を設け、過度なエネルギー消費の抑制に努めたため。			

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー使用量(GJ)	209.0	231.0	265.7	295.0	282.0	
エネルギー使用量(kl)	5.4	6.0	6.9	7.6	7.3	0.0
対前年度比(%)	—	10.5%	15.0%	11.0%	-4.4%	-100.0%

…自動計算

設備機器の保守・管理、運用改善の取組(実行計画P8)

No.	対象施設	計画／実施状況	
1	男女共同参画推進センター	計画	夏、冬の電力消費が高くなる時期に、施設利用者へ空調の省エネ協力を依頼する。
		実績	夏、冬の電力消費が高くなる時期に、施設利用者へ空調の省エネ協力を依頼した。
2	男女共同参画推進センター	計画	通年、施設利用者等に照明機器の省エネ協力を依頼する。
		実績	通年、施設利用者等に照明機器の省エネ協力を依頼した。
3		計画	
		実績	



※各施設のエネルギーデータは、LAPSSから抽出して添付

(2)職場研修の実施状況

研修名	実施状況	内容
取組目標設定研修	■ 実施	C-EMSの概要と当年度の「重点確認項目」について確認するとともに、課かいにおける取組目標及び具体的な取組エコオフィス行動ルールを書面において共有した。
法令遵守確認研修	■ 実施	遵守する法令等を書面において共有した。（取組目標設定研修と同時実施）
新任・異動者研修	■ 実施	C-EMSの概要と課かいにおける取組目標及び具体的な取組を書面において共有した。

(3)指定管理者・委託業者への協力要請

実施状況		
☐ 関係する指定管理者・委託業者はない		
☒ 要望伝達・協力要請が実施されている		
☐ 要望伝達・協力要請が実施されていない		
実施できていない項目	理由	対処状況、予定

(4)公共工事における環境配慮について(500万円以上の公共工事の場合に記入)

実施状況		
☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成し、環境に配慮した公共工事の設計又は施工を行った		
☐ マニュアルに基づくチェックシートを作成していない		
作成していない公共工事の名称	理由	対処状況、予定

【 推進責任者による評価 】

記入日 令和7年5月27日

目標の達成状況、活動の実施状況、実績に関する評価	今後の対応
昨年度同様に、エコオフィス行動ルールについては、ほぼ目標とおりの取組ができた。設備機器の省エネについては、施設利用者へ省エネ協力を依頼したり、空調機の設定温度の上限と下限に制限を設けることで、過度なエネルギー消費を抑制することができたと考えている。	取組目標を意識して、引き続き、物品等の計画的な購入やファイル等のリユース、電気のスイッチをこまめに消す、時間外勤務の削減に努めるといった取組を継続するとともに施設利用者にも省エネ協力を依頼し、エネルギー使用量の削減に努める。また、ITを活用したペーパーレス化の更なる推進を図っていきたい。